

読 13 ① どのように伝えているのかな？ ①

ゴール 文章の構成をどらえて、大切なことを読み取る。

【A】セミは、よう虫のあいだ何年も暗い土の中でくらす。成虫とな

って、ようやく外に出たと思ったら、ほんの一週間くらいで死

でしまう。そのような生き方はかわいそうだと思っただ。でも、

あるときから、ほんどうにそうだろうかと考えるようになった。

【B】一年じゅうほとんど雨のふらないさばくに、トビネズミがすん

でいる。一日に手に入れられる水分のりょうが少ないため、体から

外に出す水のりょうを少なくしたり、あせをかいたりしないよう

な体のつくりになっている。

【C】また、体から水分がじょうはつしないように、昼間は、すの中

にもぐりこんで生活している。すは、深さが一メートルか、それ

いじようになつていて、地面よりも温度が低くなっている。また

深い場所の土やすなにこっているしめり気のおかげで体がかわ

きにしくなる。そのすの中で、トビネズミは、食べ物を食べたり、

ねむったりするのだ。

【D】さいしよは、さばくですすおのは大変だと思っただ。けれど、さば

くを生きにくい場所だと思っただは人間のかつて、もしかしたら、

トビネズミたちにとつては、さばくこそがいちばんくらしやすい

場所なのかもしれない。

【E】北きよくに近い寒い地域にすおハイアリーテックモスというカ

のぼつては、一年のうち少しだけあたたかくなる六月だけ活動する。

太陽がのぼつている間は、ほとんどの時間をひなたぼつこに使っ

て、体をあたため、植物を食べる生活をしている。よう虫たちは、

太陽のねつにたよりきつているのだ。太陽が一番高く上がる六月

以外は、土の中にもぐつて冬みんしてしまふ。地面の下にもいる

いるな生きものがくらす世界がある。くだん人間には見えないだ

ふりかえり

文章の構成を考えて、文章全体を三つに分けることができた。

文章全体から、筆者の一番言いたいこと(要旨)を読み取ることができた。

参考文献より作成

かしき新聞社「かしきふしぎ200」
北村雄一『極限生物まかふしぎ図鑑』

ているしあわせな者かもしれない。
か。セミは、一生のほとんども、そんなかいてきな場所ですごし
は、もしかしたらものすごくかいてきな場所なんじやないだろ
ずしく冬あたたかく、おそつてくる敵もほとんどいない。土の中
ては、どうなんだろう。木の根のしるをたぷりすえて、夏はず
もそんなところであらう。でも、セミのよう虫にとつ
【F】土の中はくらくらく、動きまわることできない。人間は、とて
けなのだ。

文章の言葉を使って書きましよう。
三 筆者が一番言いたかったことを短くまとめてましよう。
三 筆者が一番言いたこと(要旨)を読み取ることができた。

F

説明的文章で、筆者が一番言いたことを書いてましよう。
三 筆者が一番言いたこと(要旨)を読み取ることができた。

まだめはどのだん落かな。

二 筆者が一番言いたこと(要旨)を読み取ることができた。

序論・本論・結論とも書け。だん落すしつ
ながりを考えて分けるといね。

はじめ	A		
中	B C D E		
終わり	F		

一 文章のだん落の組み立てを整理ましよう。文章全体を三つに分けること(要旨)を読み取ることができた。

○ 次の文章を読んで、あとの問に答ましよう。

【解答用紙】

1	(1) H19 A□(7)	7	(2) H23 A□(2)	97.3	(3) H19 A□(2)	91.8	(4) H24 A□(4)	63
	(5) H19 A□(3)	7.44	(6) H20 A□(4)	1.9	(7) H21 A□(4)	37	(8) H19 A□(4)	20
	(9) H26 A□(4)	0.4	(10) オシケル	2 あまり1.1				

2	
	(1) H20 A□(1)
	(2) H24 A□(2)
	5.96

3	H20A□	
		1, 4

4	H19A□	
		3

5	H22A□(1)	
		4 ÷ 8
	式	答え (例) 0.5 kg

6	H24A□(1)	
		4

7	(1) H26 A□(1)	3	(2) H26 A□(2)	3
----------	---------------------	---	---------------------	---

8	H26E□(2)	
		4